

### 3.平成18年度宮前区協働推進事業評価について

平成18年度宮前区協働推進事業評価について、区役所より資料に基づいて説明を行い、質疑応答、意見交換を行いました。協働推進事業は、「区が主体となりながら、区民の参加と協働により地域の抱える課題解決や地域特性を活かした事業を実施することにより、区における総合行政の推進を図る」事業であり、平成18年度は、総額5,500万円の予算で、6分野合計

40以上の事業を実施しました。区民会議委員から「協働推進事業は市から区への分権の意味から考えても、重要な意味を持つ」「市民参加のしくみ、協働事業としての位置付けがもっと入り、わかりやすく明示されると良い」「事業の評価について、もっと具体的な効果が見えるような資料を作成してほしい」などの意見がで

### 4.その他の話題

#### 地域のシンボルとなる壁画が完成

昨年、通り魔事件の現場となった梶ヶ谷貨物ターミナル駅下のトンネルで、地域の環境改善のため、地元の町内会の方々や、野川中学校の生徒や先生が総出で取り組んでいた壁画が8月に完成しました。両側の壁合わせて340m、5,000匹以上の魚が描かれた、一見の価値ある宮前区の新しいスポットです。

また、犬蔵中学校による四季をテーマとした東名高速道路下のトンネルの壁画も完成しました。

このほか、地元子ども会による浄水場通りの壁画の描きかえも完成しました。



上:浄水場通り、右下:梶ヶ谷トンネル下、左下:東名高速道路下

#### 宮前区役所事業概要

宮前区役所では、少しでも区民の皆様にご覧いただき、ご意見をいただくという目的で、今年度初めて区役所全ての事業の概要を示した「平成19年度宮前区役所事業概要」を発行しました。区役所としては市内で初の試みです。

区役所などで配布しておりますので、皆様ぜひご覧いただき、お気付きの点やご意見をいただければ幸いです。



#### 平成19年度 第3回区民会議

日時：平成19年11月16日（金）18:00～20:30  
場所：宮前区役所4階大会議室  
議題：専門部会からの課題解決策の提案 ほか

傍聴にお越しください！

区民会議の詳細、開催スケジュール等は、[区ホームページから](http://www.city.kawasaki.jp/69/69miyamae/miyamae/index.htm)もご覧になれます

<http://www.city.kawasaki.jp/69/69miyamae/miyamae/index.htm>

### 意見大募集

区民会議がより実のある議論の場となるよう、区民の皆様から広く意見を募集いたします。今までの会議の審議内容や、議事運営の方法、また、身近にある地域の課題についてご意見をお寄せください。持参、郵送、ファックス、メールでお送りください。書式は自由です。たくさんのご意見をお待ちしています。

区民会議の全体会、専門部会は基本的に全て公開となっております、傍聴が可能です。ご興味のある方はぜひお越しください。

今後の会議予定やこれまでの検討経過などの情報は区のホームページからご覧になれます。

問合せ 〒216-8570 宮前区役所総務企画課企画調整担当

TEL 044(856)3133、FAX 044(856)3119、メール 69soumu@city.kawasaki.jp



# みやまえ 区民会議だより

第3号

平成19年10月31日

インデックス  
・区民会議提案に対する取組 1面  
・部会審議経過 2～4面  
・その他の話題 4面

編集・発行 宮前区役所総務企画課企画調整担当

TEL 044-856-3133

FAX 044-856-3119

[http://www.city.kawasaki.jp/69/69soumu/home/kuminkaigi/kaigi\\_01.htm](http://www.city.kawasaki.jp/69/69soumu/home/kuminkaigi/kaigi_01.htm)

## 平成19年度 第2回宮前区区民会議開催

去る8月10日(金)、平成19年度第2回宮前区区民会議が開催されました。今回の会議でも、区民会議提案に対する取組状況や各部会の審議状況の報告があり、それらを受けて熱心に審議を行いました。会議の詳しい様子を紙面でお知らせいたします。



### 1. 区民会議提案に対する取組状況報告

昨年度の区民会議からの17提案(高齢者福祉に関する8提案、子育て支援に関する9提案)を受けた地域と行政の取組が進んでいます。区役所では、毎月の定例の会議の場で、取組状況の報告と意見交換を行っています。毎回の区民会議でも、提案に対する地域と区役所の取組状況を報告し、進捗状況の確認と今後の進め方等についての審議を行っています。その一部を紹介します。

#### 高齢者福祉



提案2 地域ぐるみの散歩活動などの実施

#### 地域で健康づくりの 体操グループが続々誕生！

- 【地域の取組】  
・あおぞら体操グループなど公園での体操活動が広がりを見せています。今年度に入ってから、東有馬、犬蔵、蔵敷、有馬地区などでも新しいグループが立ち上がりました。
- 【行政の取組】  
・区内の体操マップを新しく作り変えました。保健福祉センター内には、体操マップをボードにはり出したので、ぜひご覧ください。  
・立上げ予定のグループに運動普及推進員の派遣などの支援を行っています。  
・介護予防の活動を始めたいと思っている地域がありましたら、保健福祉センターの地域保健福祉課健康づくり担当(856-3254)までご相談ください。



提案6 団塊世代による高齢者福祉のサポート

#### 「よろずシニア本舗みやまえ」 開設場所を2階ロビーに移転

- 【行政の取組】  
・毎週木曜午前に開設しているシニアライフ相談窓口「よろずシニア本舗みやまえ」の開設場所を8月に1階から2階ロビーに移しました。たくさんのご相談お待ちしております！

提案8 市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り

#### 野川西団地の取組がNHKなどで紹介されました！

- 【地域の取組】  
・高齢者世帯の緊急連絡先等を預って封をして管理し、非常時のみ開封する野川西団地の試みが、NHKの番組「ご近所の底力」(7月1日放送)や朝日新聞全国版(8月4日夕刊)で紹介されました。(詳細は2ページ)

提案1 ご近所サークルの形成

- ・わたしの町のすこやか活動の空白地域だった馬絹・宮崎台・小台」地区で、まぎぬ地域推進委員会が主体となり、おしゃべりサロン「もも」が発足しました。

提案7 成年後見制度の普及・啓発

- ・10月3日(水)午後、宮前区地域ケア会議と宮前区地域自立支援協議会との共催により、宮前区役所で成年後見制度をテーマにした講演会を開催しました。当日は約80名の方が参加し、熱心に講演を聞いていました。



# 1. 区民会議提案に対する取組状況報告 (つづき)

## 子育て支援



提案1 健診時における情報の収集・発信

### 親子の集いと居場所づくり調査を実施

【行政の取組】

- ・9・10月の健診(3ヶ月、3歳児)対象者に、日常の過ごし方や地域での居場所についてアンケート調査を実施しました。
- ・10月から1歳半健診において、保育士による育児相談を始めました。



提案2 町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信

### 「子育てかわら版」を町内会へ回覧

【地域と行政の取組】

- ・宮前区子育て支援関係者連絡会が編集する子育て情報紙「子育てかわら版」の第9号(7月発行)が町内会組織等を通じて、初めて区内全域に回覧されました。
- ・発行部数を従来の1万部から2万部に倍増させ、保健福祉センターや自主グループの活動紹介など、内容の充実も図りました。
- ・次号(10号)の発行は11月の予定です。

提案4 赤ちゃん広場の拡充

### 「2007赤ちゃん広場」懇談会開催

【地域の取組】

- ・カンガルーねっとわーくの主催で7月2日、「2007赤ちゃん広場懇談会」を開催、赤ちゃん広場の役割や利点を再確認しました。

提案5 子育て支援センターの拡充

- ・地域子育て支援センター(さぎぬま・すがお)で9月と12月に土曜開設を実施することとなりました。



## 会議での区民会議委員の声



- ・有馬地域の体操グループは徐々に参加者が増えています。短時間の活動ですが、身体を動かすことで非常にすっきりします。顔の見える関係・コミュニティづくりにもつながっています。(永野委員)
- ・シニア相談窓口への相談者が増えることを期待しています。シニアアドバイザーの担い手を増やしていく必要性も感じています。(三谷委員)
- ・向丘地域で水と緑・歴史のウォークを始めたところ参加者が非常に多く、関心の高さがわかりました。(松井委員)
- ・こども総合支援関係者懇談会と子育て支援関係者連絡会の連携を深めたいです。昨年の区民会議からの提案以来行政との話し合いの場が増え、提案実現に向けての動きを実感しています。(目代委員)

## 地域の取組紹介：野川西団地の孤独死防止・高齢者見守り

野川西団地では、団地内の高齢世帯に緊急連絡先やかかりつけ医などの情報を「連絡票」に書いてもらい、封をした上で提出してもらって管理しています。開封するのは緊急時の場合のみ。情報の更新時には、前回の情報を封をしたまま本人に返却するしくみです。個人情報の流出を気にする人も、この方法なら比較的安心できるということで、いざという時の情報として、9割以上の高齢世帯からの提出があります。

また、各棟ごとにいるボランティアが、高齢世帯の郵便ポストやカーテンの開閉、洗濯物など生活のシグナルを外から日常的に、さりげなく見守っています。見守る側、見守れる側の双方にとって、負担感の少ないしくみです。自治会長を務める福本さんは区民会議の委員でもあります。野川西団地の活動はNHKの番組「ご近所の底力」(7月1日放送「孤独死をゼロにした団地」)や朝日新聞全国版(8月4日夕刊社会面)でも紹介されました。区役所では福本委員の協力もいただきながら、この素晴らしい取組を区内全域に広報し、同様の取組を広げていきたいと考えています。



# 2. 専門部会の審議状況

## 明日のコミュニティ部会

宮前区らしいまちづくりを目指し、地域コミュニティの希薄化をくい止め、人と人とのつながりを強化していく手法を模索、検討しています。

5月に開催された第1回区民会議以降、2回の会議を開催しました。宮前区でのコミュニティ形成の単位として小学校区を設定し、その先進事例として、町内会関係者、子ども安全・安心協議会の関係者を招いて話を伺いました。

子ども安全・安心協議会は、宮前区独自の試みで昨年から区内17の全小学校区で発足しています。(野川・西野川・南野川は3小学校区合同)

平小学校区では、学校・PTA・地域の三者のリーダーシップによって運営されているところに特徴があり、こども110番の拡充や、宮前わんわんクラブなども参加したパトロール活動などを行っているとのことでした。

また、向丘小学校区では、地元の老人会を中心に80名以上が交代制で登下校時の見守りを実施し、子ども達との交流も深まっているとのことでした。

このほか、「地域の祭りや体育関連の事業やイベントにお楽しみや新しい要素を加えて人を集めることからコミュニティを広げてはどうか」「地域安全マップづくりに地域一帯で取り組むことで、住民が地域で新しい発見をし、まちづくりの視点やテーマ、問題意識を共有できるようになる」「商店街からの地域活性化にも期待したい」などの意見も出されました。



## 地域防災部会

今年度第1回の区民会議で設置の決まった新しい部会です。災害に強く被害を最小限にとどめる地域の形成を目標に、日頃と大地震発生直後の自助(自分・家族の身を守る)と共助(地域で互いに助け合う)に論点を絞って検討を進めています。

自助では、防災意識の向上が第一の課題としてあげられ、解決策としてクロスロードゲーム(解説右欄参照)を活用した出前講座や、宮前区版防災インストラクターの育成と活用などのアイデアが出されました。参考事例として、宮前区まちづくり協議会防災部会の防災フェアや防災ニュース、内閣府の「1日前プロジェクト」などの資料が提供され、ひとり一人に自らの問題として防災を真剣に認識してもらう方法を模索しています。

また、地震災害での死亡者の多くが建築物倒壊や家具転倒などによる圧死であることを踏まえ、住居の耐震性の向上も重要という意見が出ています。過日の新潟県中越沖地震でも亡くなられた方11名の内9名が、倒壊家屋が原因だったということで、部会員一同その重要性を一層認識したところです。

共助では、町内会・自治会の加入率の向

上や、これまで地域との関わりが薄かった保育園や幼稚園と地域との連携強化、避難所運営会議の活性化などが課題としてあげられました。転入手続きなどにおける町内会・自治会加入メリットの情報提供や、地域の特色を活かした実践的な防災訓練の実施などが解決策のアイデアとしてあげられています。

### クロスロードとは?

カードゲーム型の災害対応教材。文部科学省が進めた「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として、大学助准教授などによる「チームクロスロード」によって開発された。「クロスロード」は「重大な岐路」の意で、「人数分用意できない緊急食料をそれでも配るか」「学校教育の早期再開を犠牲にしても学校用地に仮設住宅を建てるか」「事後に面倒が発生するかもしれないが、がれき処理を急ぐため分別せずに収集するか」など、実際の災害時に被災者が直面した難しい状況判断がカードとして出題され、各自がYESかNOかで自分の意見を示す(または多数派を予測する)。正解は示されおらず、なぜそのように考えたのかについて参加者同士で意見交換することが重要なポイントとなる。

宮前区内でも地域教育会議などが積極的に導入し、インストラクターの育成などを進める動きがある。



参考: <http://www.bousai.go.jp/km/gst/kth19005.html>